

【邦舞第二部 講評】

- 指導者（先生）の教え方をしっかりと受けて踊るのを見て興味がわきますと共に、とてもコワイ事と思って拝見しました。先が楽しみとも思います。チャレンジする事はそれをきっかけに伸びて行くのを見るのも楽しみです。

- みなさんしっかりとおけいこしているのが良くわかりました。小道具を使う演目の場合、それをどこまで省いて良いのかをよく考えてください。審査員は小道具の扱い方もしっかりと拝見しますので。ぬきさしはかならずしも一曲完結させる必要はありませんが、あまり邦楽の流れを切ってしまうのは良くありません。踊りの流れが切れない様にしてください。

- 年少の子は基本もしっかり、とても落ちついてたのしい限りです。また13、4才は大人の風情、曲の解釈もしっかりして成長している様子わかります。元気いっぱい破たんすることもなく、男女ともに安定感がありました。

- 今回の審査では、多くの出演者が、首振りやおすべりといった基本の技術をしっかり身につけたうえで、それぞれの作品の世界をいきいきと表現していたことが印象に残りました。コンクールですので点数や順位はつきますが、どの踊りにもその人ならではの魅力がありました。とりわけ成長期の皆さんは、身体の変化によって思うようにいかないことも多い中、懸命に稽古を重ねて舞台に臨まれたことと思います。今回の挑戦に向けて積み重ねた努力は、たとえ今すぐ結果に結びつかなくても、これからの踊りに必ず生きてきます。どうぞこれからも学びを深め、それぞれの花を咲かせてください。

- 皆、いっしょうけんめい踊って下さり、感謝です。ありがとう。目出たく、うれしく、楽しくです。